



つながる。まわる。圏央道。

圏央道（神崎IC～大栄JCT）が開通します



記者発表資料

国土交通省

東日本高速道路株式会社



6月7日に開通した圏央道 神崎IC～大栄JCT間について、
開通区間の交通量速報と現れはじめたストック効果をお知らせします。

～つながる。まわる。圏央道。～ 国際競争力と成長を支える道路

※ストック効果：整備された社会資本が機能することによって、継続的に中長期的に得られる効果

- 常磐道から東関東道がつながったことにより、圏央道の利便性が向上しています。

神崎IC～大栄JCT：約8,400台/日※1

稲敷東IC～神崎IC：約9,300台/日※1（対前年同週比272%増）

- 沿線道の駅（発酵の里こうざき）では、来場者も2割増加し、

地域の観光・レジャー需要にも寄与

- 精密機械などの輸送に時間短縮効果（企業活動を効率化）

つくば市の企業から朝日森運輸株式会社（成田市）まで 約90分→約50分

精密機器の輸送において、高速道路の利用により、振動・揺れが少なくスムーズな輸送が可能に

今後これから発現していくストック効果を随時発表していきます。

※1 平成27年6月8日（月）～6月14日（日）の日交通量の平均値

【圏央道 神崎IC～大栄JCT間の開通後1週間の交通量】

日付	日別交通量※2		備考	天候※3
	神崎IC～下総IC間	下総IC～大栄JCT間		
6月7日（日）	4,300台	4,400台	17時開通（7時間交通量）	晴れ
6月8日（月）	8,000台	8,000台	24時間交通量	晴れ
6月9日（火）	6,900台	6,800台		曇り
6月10日（水）	8,200台	8,200台		晴れ
6月11日（木）	7,800台	7,700台		晴れ
6月12日（金）	8,000台	7,900台		曇り
6月13日（土）	10,300台	10,300台		晴れ
6月14日（日）	9,900台	10,000台		晴れ
6月15日（月）	7,400台	7,500台		晴れ

※2 交通量はETC車以外も含む全車種合計の本線交通量（トラフィックカウンター
[道路に備え付けられている交通量（概数）の自動計測装置]による速報値）

※3 天候は香取市の屋の天気概況を記載（気象庁ホームページより）

効果① 開通直後の交通状況

●圏央道の開通後の日交通量※1は、平均8,400台/日。

圏央道（神崎IC～下総IC間）：8,400台/日
 圏央道（下総IC～大栄JCT間）：8,400台/日

●これまで開通していたつくばJCT～神崎IC間の交通量は、対前年同週比較で増加。常磐道、東関東道の交通量※1は、対前年同週比較で増加。

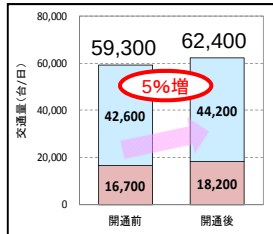
圏央道（稲敷東IC～神崎IC間）：2,500台/日→9,300台/日[272%増]
 常磐道（つくばJCT～谷田部IC間）：58,300台/日→60,200台/日[3%増]
 常磐道（桜土浦IC～つくばJCT間）：59,300台/日→62,400台/日[5%増]
 東関東道（成田IC・JCT～大栄JCT間）：24,700台/日→30,000台/日[21%増]
 東関東道（大栄JCT～大栄IC間）：24,700台/日→25,200台/日[2%増]

※1 出典）NEXCOデータ

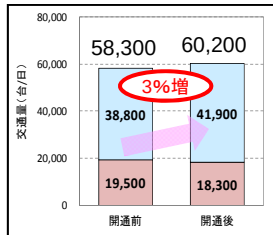
開通前：平成26年6月9日（月）～6月15日（日）の日交通量の平均値
 開通後：平成27年6月8日（月）～6月14日（日）の日交通量の平均値

⑫、⑬常磐自動車道※1

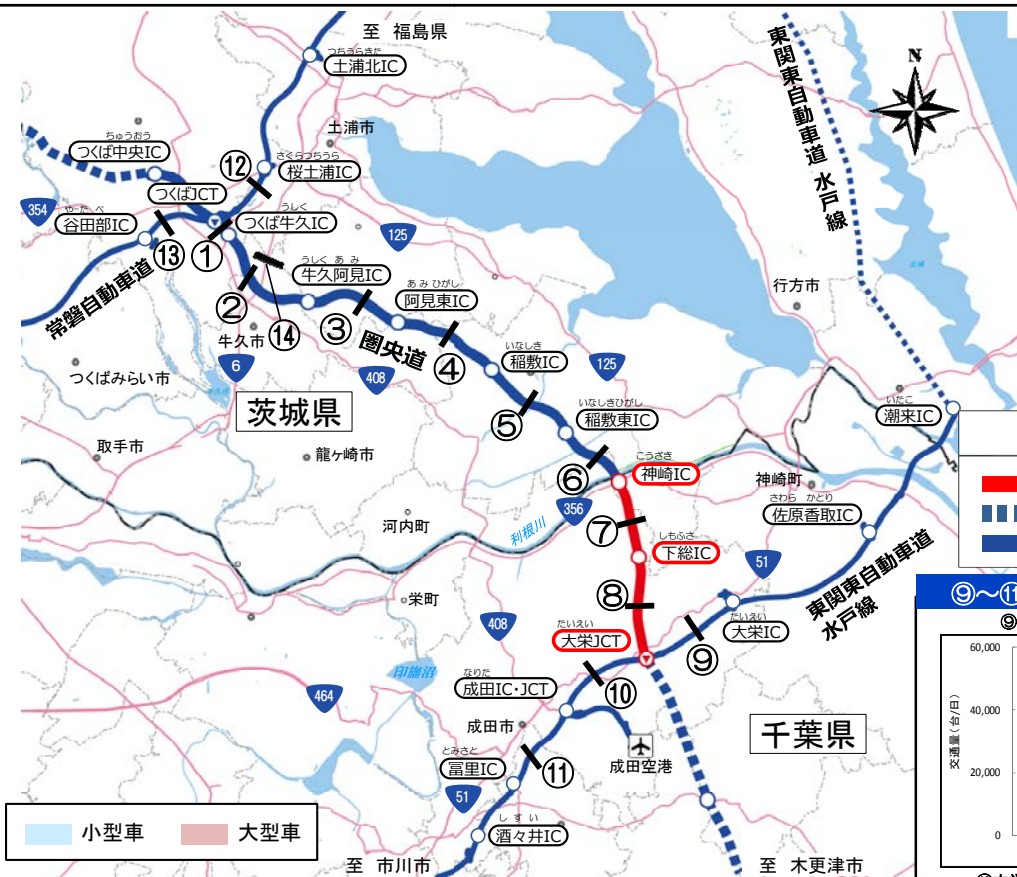
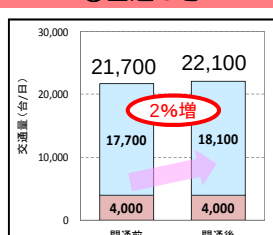
⑫桜土浦IC～つくばJCT



⑬つくばJCT～谷田部IC



⑭国道6号※2

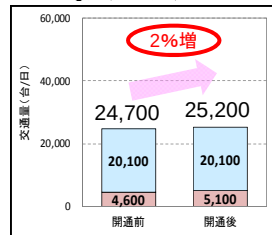


凡例

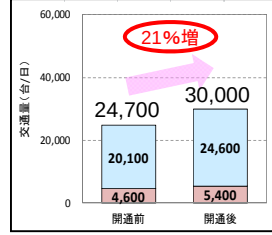
■ 今回開通区間
 ■■■ 事業中区間
 ■■■ 開通済区間

⑨～⑪東関東自動車道※1

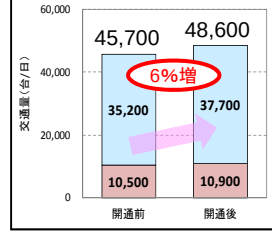
⑨大栄IC～大栄JCT



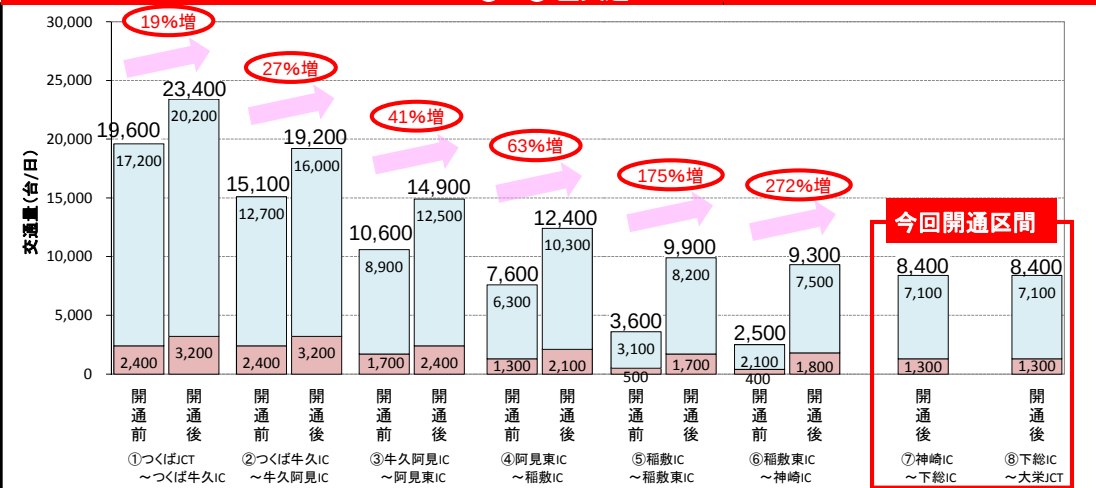
⑩大栄JCT～成田IC・JCT



⑪成田IC・JCT～成田空港



①～⑧ 圏央道※1



※1 出典）NEXCOデータ

※2 出典）国土交通省トラカンデータ

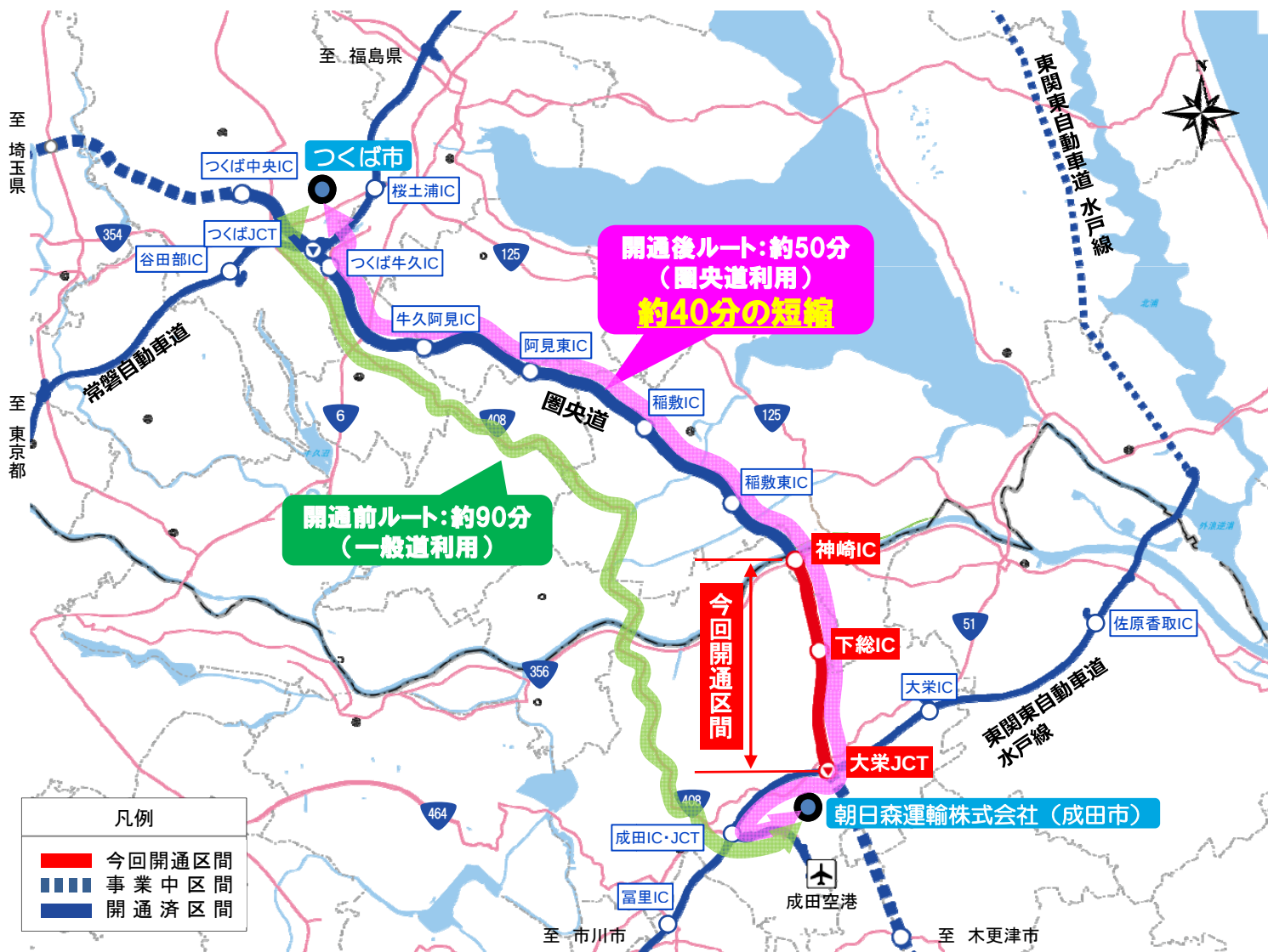
開通前：平成26年6月9日（月）～6月15日（日）の日交通量の平均値
 開通後：平成27年6月8日（月）～6月14日（日）の日交通量の平均値

開通前：平成26年6月9日（月）～6月15日（日）の日交通量の平均値
 開通後：平成27年6月8日（月）～6月14日（日）の日交通量の平均値

効果② 国際競争力と成長 ～民需の拡大～

- 沿線に立地する企業では、圏央道の整備により、走行性の向上、移動時間の短縮の効果実感の声を頂いています。

圏央道の利用により移動時間が短縮され、企業活動に貢献



沿線に立地する企業の声

物流企業の声



朝日森運輸株式会社
関係者

- ・圏央道の開通を見込んで、成田市に新たな物流施設を建設しており、開通後に圏央道を利用し、利便性の向上を実感しています。
- ・精密機器をつくば市の企業から海外へ輸出するため物流施設に輸送していますが、振動・揺れの少ない高速道路を長く走行できるため、スムーズに安心して運べるようになりました。
- ・また、一般道経由で約90分かかっていましたが、圏央道の開通により、約50分で行けるようになり、移動時間が短縮しました。

出典)平成27年6月 ヒアリング調査(常総国道事務所調べ)

効果③ 地域経済の好循環 ～広域交流の実現～

- 沿線道の駅では、来場者数が2割増加し、売り上げも上昇。
- また、成田空港からのアクセス向上により、広域的な観光交流が図られることで、内外からの集客にも期待。

沿線道の駅・一般利用者の声

○圏央道の利用により、来園者の増加を実感！



道の駅
「発酵の里こうざき」・
関係者

・来場者数は、**開通前と比べて2割ほど増加し、売上も上がっています。**圏央道開通後は、**観光バス、物流車両の立ち寄りが増えている**と思います。

成田空港からのアクセスが向上し、広域的な観光交流が見込めるため、今後は、内外からの集客アップに取り組んでいきたいと思います。



(成田市在住)

大栄ICから発酵の里こうざきまで、圏央道を利用すると、一般道よりも10分早く行けました。



平成27年6月撮影

出典) 平成27年6月13日 道の駅「発酵の里こうざき」でのヒアリング調査(常総国道事務所調べ)

一般利用者の声



(土浦市在住)

会社のある成田まで高速道路と一般道で60～90分かかっていたが、開通後は40～45分位で行けるようになり、時間もよみやすくなりました。



(成田市在住)

ゴルフ場へ行く際に、阿見東ICまで初めて利用しました。
開通前より15分早く行けて、移動が便利になりました。

凡例

- 今回開通区間
- 事業中区間
- 開通済区間

出典) 平成27年6月13日 道の駅「発酵の里こうざき」でのヒアリング調査(常総国道事務所調べ)

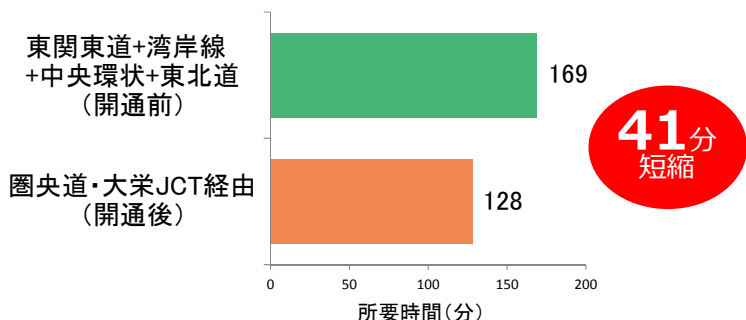
効果④ 地域経済の好循環 ～新たな広域ネットワークの形成～

- 次々とつながる圏央道により、北関東方面と成田空港を結ぶ新たな広域ルートが形成されます。
- 成田空港から主要観光地への移動ルートの選択性が広がり、地域間移動の時間短縮効果が期待されています。

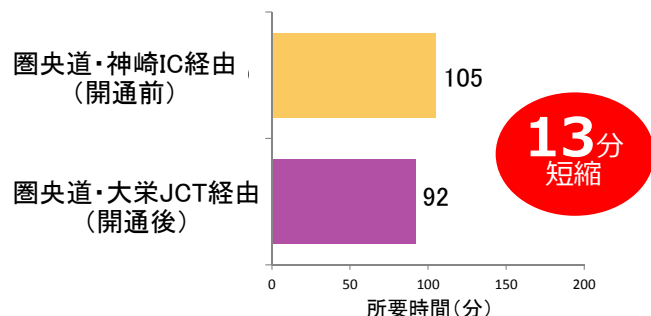
旧弘道館(水戸市)と足利学校跡(足利市)は、《近代日本の教育遺産郡—学ぶ心・礼節の本源—》として、平成27年度「日本遺産」に認定



【成田空港と栃木・足利方面間の所要時間の比較】



【成田空港と茨城・水戸方面間の所要時間の比較】



出典)平成22年道路交通センサスの混雑時旅行速度より算出
なお、神崎IC～大栄JCT及び境古河IC～つくば中央ICは、規制速度(70km/h)で算出

圏央道開通区間概要

- 首都圏中央連絡自動車道（圏央道）は、首都圏の道路交通の円滑化、沿線都市間の連絡強化等を目的とした、都心から半径およそ40～60kmの位置に計画されている総延長約300kmの環状の自動車専用道路です。現在までに約230kmが開通しています。
- 今回開通区間の概要
路 線 名：一般国道468号首都圏中央連絡自動車道（圏央道）
○開 通 区 間：神崎IC（千葉県香取郡神崎町松崎）～大栄JCT（千葉県成田市吉岡）
○開 通 日：平成27年6月7日（日）17時
○延 長：9.7km
○車 線 数：暫定2車線
○開 通 IC（アクセス道路）：下総IC（(主)成田下総線）

今回開通区間の位置図

